

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータリテラシーⅠ		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	8単位(120時間)	必須	川人 宏行(実務経験有)
授業の概要				
経営戦略、システム戦略、開発技術、プロジェクトマネジメント、コンピュータのハードウェア/ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティなど、ITの基礎的な知識を習得する				
【実務経験】川人宏行: エンジニアとして5年間勤務 社会人経験を活かし、学生のロールモデルとなるように授業展開する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省 ITパスポート試験 合格 ・経営に関する基礎的な知識を理解する ・IT(情報技術)に関する基礎的な知識を理解する 				
回	テーマ	内 容		
1~2	ハードウェアとソフトウェア	以下の内容を理解する ・コンピュータの種類 確認テストを実施し、理解度を確認する		
3~4	ハードウェアとソフトウェア	以下の内容を理解する ・コンピュータの基本構成 確認テストを実施し、理解度を確認する		
5~6	ハードウェアとソフトウェア	以下の内容を理解する ・プロセッサとメモリ 確認テストを行い理解度を確認する		
7~8	ハードウェアとソフトウェア	以下の内容を理解する ・オペレーティングシステム 確認テストを行い理解度を確認する		
9~10	データベース	以下の内容を理解する ・データベースの構築 確認テストを行い理解度を確認する		
11~12	データベース	以下の内容を理解する ・データベース管理システム 確認テストを行い理解度を確認する		
13~14	ネットワーク	以下の内容を理解する ・ネットワークの基本構成 確認テストを行い理解度を確認する		
15~16	ネットワーク	以下の内容を理解する ・インターネット技術 確認テストを行い理解度を確認する		
17~18	セキュリティ	以下の内容を理解する ・情報セキュリティの概要 確認テストを行い理解度を確認する		

回	テ ー マ	内 容
19～ 20	セキュリティ	以下の内容を理解する ・ 情報セキュリティの対策 確認テストを行い理解度を確認する
21～ 22	セキュリティ	以下の内容を理解する ・ 暗号技術 確認テストを行い理解度を確認する
23～ 24	セキュリティ	以下の内容を理解する ・ 認証技術 確認テストを行い理解度を確認する
25～ 26	情報システム	以下の内容を理解する ・ システムの構成 確認テストを行い理解度を確認する
27～ 28	情報システム	以下の内容を理解する ・ システムの評価指標 確認テストを行い理解度を確認する
29～ 30	マルチメディアとインタフェース	以下の内容を理解する ・ マルチメディア技術 確認テストを行い理解度を確認する

回	テーマ	内容
31～ 32	マルチメディアとインタフェース	以下の内容を理解する ・ ヒューマンインタフェース技術 確認テストを行い理解度を確認する
33～ 34	プロジェクトマネジメント	以下の内容を理解する ・ システム開発技術 確認テストを行い理解度を確認する
35～ 36	プロジェクトマネジメント	以下の内容を理解する ・ データ構造とアルゴリズム 確認テストを行い理解度を確認する
37～ 38	プロジェクトマネジメント	以下の内容を理解する ・ プログラミング 確認テストを行い理解度を確認する
39～ 40	プロジェクトマネジメント	以下の内容を理解する ・ プロジェクトマネジメント 確認テストを行い理解度を確認する
41～ 42	サービスマネジメント	以下の内容を理解する ・ サーマネジメント 確認テストを行い理解度を確認する
43～ 44	サービスマネジメント	以下の内容を理解する ・ システム監査 確認テストを行い理解度を確認する
45～ 46	企業と法務	以下の内容を理解する ・ 企業活動と組織形態 確認テストを行い理解度を確認する
47～ 48	企業と法務	以下の内容を理解する ・ 業務把握と業務改善 確認テストを行い理解度を確認する
49～ 50	企業と法務	以下の内容を理解する ・ 企業会計 確認テストを行い理解度を確認する
51～ 52	企業と法務	以下の内容を理解する ・ 企業法務 確認テストを行い理解度を確認する
53～ 54	経営戦略	以下の内容を理解する ・ 経営戦略マネジメント 確認テストを行い理解度を確認する
55～ 56	経営戦略	以下の内容を理解する ・ システム戦略 確認テストを行い理解度を確認する

回	テ ー マ	内 容		
57~ 58	システム戦略	以下の内容を理解する ・ 情報システム戦略 確認テストを行い理解度を確認する		
59~ 60	システム戦略	以下の内容を理解する ・ 技術戦略マネジメント 確認テストを行い理解度を確認する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
留学生のためのITリテラシー		出席率 確認テスト 期末試験	30.0% 30.0% 40.0%	【授業準備】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Office演習 I		国際ITエンジニア学科セ キュリティコース(3年)	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	合田 千佳(実務経験有)
授業の概要				
日本語入力環境でのパソコン操作と入力スキルを習得する フォルダーやファイル操作の基本スキルを習得する マイクロソフトWordの基本的な使い方を習得する 【実務経験】合田 千佳:営業事務として2年の実務経験 これまでのMicrosoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス 文書作成などの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する				
授業終了時の到達目標				
マイクロソフトWordを利用して写真、表、図形等を用いて自己紹介を作成することができる				
回	テーマ	内 容		
1	パソコン操作と日本語入力の基本	パソコンの種類と起動 マウスの操作に慣れる		
2	パソコン操作と日本語入力の基本	Windowsの画面とアプリケーションの起動 キーボードの名称と機能について		
3~ 5	パソコン操作と日本語入力の基本	ローマ字・ひらがな・漢字入力について タッチタイピングに慣れる		
6	Wordの基本	Wordの起動と終了 文書の作成、保存、読み込みについて		
7	Wordの基本	文書の印刷について 練習問題にチャレンジする		
8	入力操作の基本	ひらがなの入力と改行 文字の検索と置換 文字のコピーと貼り付け 練習問題にチャレンジする		
9	文字と段落の書式	フォント、段落、行間、インデントの設定 書式のコピーとクリアについて		
10	文字と段落の書式	練習問題にチャレンジ		
11	箇条書き	箇条書きの設定、解除 設定テクニック 練習問題にチャレンジ		
12	表の作成	表の作成 行や列の追加や削除 セルの結合と文字の配置について 表のデザインを変更する		
13	表の作成	練習問題にチャレンジ		

回	テーマ	内容
14	グラフィック要素 1	ワードアート、画像の挿入について 挿入した画像の各種調整方法について 練習問題にチャレンジ
15	グラフィック要素 1	練習問題にチャレンジ
16	グラフィック要素 2	スクリーンショットの撮り方 テキストボックスの挿入、設定について 図形の挿入と設定 練習問題にチャレンジ
17	グラフィック要素 3	ページの背景色を変更する 図の体裁とアート効果を適用する 図形の書式を調整する 練習問題にチャレンジ

回	テーマ	内 容		
18	はがきの作成	はがきの作成		
19	はがきの作成	差し込み印刷の方法 練習問題にチャレンジ		
20	スマートアート	スマートアートの使い方について デザインの変更、図形の追加 練習問題にチャレンジ		
21	レイアウトの区切り	ページ区切り、段組み、段区切り、セクション区切りについて 練習問題にチャレンジ		
22	長文の作成に便利な機能	スタイルと見出し、目次、表紙の作成 練習問題にチャレンジ		
23	グリーンティングカード	ページの向きと挿入 オンライン画像と挿入 図形の挿入とテキストの追加 練習問題にチャレンジ		
24～ 25	文書作成の応用例 1	ページ設定、テキストの挿入、書式の設定、箇条書きの設定、文字の配置 練習問題にチャレンジ		
26～ 27	文書作成の応用例 2	ヘッダーとフッターの設定、表の挿入・編集、データ入力、スタイル設定 練習問題にチャレンジ		
28～ 30	自己紹介を作成する	自己紹介ページを作成する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
留学生のためのかんたんWord入門 技術評論社		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	【事前学習】 次回授業の教科書の範囲を熟読し、意味の理解できない日本語にマークする

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネットワーク基礎		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	4単位(90時間)	必須	塩田 和正(実務経験有)
授業の概要				
インターネットの特徴と基本的な仕組みを学ぶ LAN(ローカルエリアネットワーク)を構成する為に必要な知識を取得し、小規模なLANの設定を行う 【実務経験】塩田和正:システムエンジニアとして10年の勤務経験 エンジニアとしての経験を踏まえ学生がイメージしやすいように授業を展開する				
授業終了時の到達目標				
ネットワークの種類や、ネットワーク接続装置の役割を説明できる LAN(ローカルエリアネットワーク)を構成する為に必要な知識を取得し、小規模なLANが構築できる				
回	テーマ	内 容		
1	ネットワークを学ぼう	ネットワークとはそもそも何 身近なネットワークについて		
2	ネットワークを学ぼう	インターネットに接続するには		
3	ネットワークを学ぼう	LAN(ローカルエリアネットワーク)とは? ネットワークにつながるしくみ		
4~ 7	ネットワークを学ぼう	LANを作ってみよう WindowsPCを使ってLANを作る		
8~ 9	ネットワークを学ぼう	ネットワークケーブルを作成する		
10~ 12	課題① 指定した条件でネットワークを作成 する	ネットワークケーブルを作成し、作成したケーブルを使っ てLANを作成する		
13~ 14	用語の整理	これまで学んだネットワーク用語について整理する		
15	用語の確認テスト①	これまで学んだネットワーク用語についての確認テスト		
16	用語の確認テストの解説	用語の解説		
17~ 18	データはネットワークをどう流れ る?	WebブラウザからWebサーバーへと向かうデータを追跡し よう		
19	ネットワークモデルを知ろう	OSI参照モデルについて		
20	ネットワークモデルを知ろう	各層の役割について		
21	ネットワークモデルのプロトコルを 知ろう	プロトコルって何 OSI参照モデルの各層に対応するプロトコルについて		
22~ 25	ネットワークモデルのプロトコルを 知ろう	OSI参照モデルの各層に対応するプロトコルについて		
26	IPアドレス	IPアドレスとは?		

回	テ ー マ	内 容		
27~ 30	課題② 指定した条件でネットワークを作成する	ネットワークケーブルを作成し、作成したケーブルを使ってLANを作成する		
31~ 32	用語の整理	これまで学んだネットワーク用語について整理する		
33	用語の確認テスト②	これまで学んだネットワーク用語についての確認テスト		
34	用語の確認テストの解説	用語の解説		
35	ネットワーク内のサーバーについて	特にDHCPサーバーの役割と機能についてその他のサーバーの働きを知ろう		
36	無線LANについて	身の回りで無線LANがどのように利用されているか公衆無線LAN、学校の無線LAN		
37	無線LANについて	無線LANに関わる用語を知るSSID、暗号化		
38~ 40	無線LANについて	無線LANアクセスポイントの設定を行う		
41~ 42	課題③ 指定した条件で無線LANアクセスポイントを設定する	指定した条件でアクセスポイントを設定する		
43	用語の整理	これまで学んだネットワーク用語について整理する		
44	用語の確認テスト③	これまで学んだネットワーク用語についての確認テスト		
45	用語の確認テストの解説	用語の解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
今すぐ使えるかんたんネットワークのしくみ 超入門 技術評論社		確認テスト 課題・レポート 出席率	40.0% 40.0% 20.0%	【事前学習】 各回の授業で登場するネットワーク用語を次回までに復習をする

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本語基礎 I		国際 ITエンジニア学科セ キュリティコース (3年)	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位 (90時間)	必須	橋本 恵
授業の概要				
日本語能力試験 N 3 レベルの日本語力の定着と N 2 試験対策のための学習を行う				
授業終了時の到達目標				
日本語能力試験 N 2 レベルの日本語力の習得				
回	テーマ	内 容		
1	オリエンテーション	クラスの雰囲気づくり、目標確認のための日本語学習活動を行う		
2	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
3	文法	N 3 レベルの文法の確認と定着をする		
4	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
5	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
6	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
7	文法	N 3 レベルの文法の確認と定着をする		
8	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
9	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
10	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
11	文法	N 3 レベルの文法の確認と定着をする		
12	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
13	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
14	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
15	文法	N 3 レベルの文法の確認と定着をする		

回	テ ー マ	内 容
16	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
17	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
18	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
19	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
20	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
21	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
22	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
23	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
24	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
25	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
26	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
27	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
28	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
29	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
30	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
31	日本語能力試験模試(言語知識・読解)	日本語能力試験模擬試験(言語知識・読解)に挑戦し、自分の習得度と弱点を知る
32	会話	場面に合った会話表現を習得し、自然な会話ができるようにする
33	日本語能力試験模試(言語知識・読解)のフィードバック	習得度と弱点を知る
34	文法	N3～N2レベルの文法の確認と定着をする
35	日本語能力試験模試(聴解)	日本語能力試験模擬試験(聴解)に対し、自分の習得度と弱点を知る

回	テ ー マ	内 容		
36	文法	N3～N2レベルの文法の確認と定着をする		
37	日本語能力試験模試(聴解)の フィードバック	日本語能力試験模擬試験(聴解)に対し、自分の習得度と弱点を知る		
38	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
39	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする		
40	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
41	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
42～ 44	前期総復習	期末テストに向け、前期で学習したことの復習をする		
45	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本語総まとめN2文法 アスク出版 日本語総まとめN2語彙 アスク出版		期末試験 確認テスト 出席率	60.0% 20.0% 20.0%	【事前学習】 教科書の次回学習 範囲を読んでき ること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザイン I		国際ITエンジニア学科セ キュリティコース(3年)	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	塩田 和正(実務経験有)
授業の概要				
<p>日本で就職することを見据えて、学生の日々の生活状況の確認を行う 学内、学外での活動を通じて、日本ならではの文化や日本人ならではの考え方を理解する</p> <p>【実務経験】塩田和正：システムエンジニアとして10年 社会人経験を活かし、学生のロールモデルとなるように授業展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
学内、学外での活動をきっかけに日本文化に積極的に触れることができるようになる				
回	テーマ	内容		
1	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う 日本文化の紹介を行う		
2~ 4	生活状況の確認 レポート作成①	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
5	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う 日本文化の紹介を行う		
6~ 8	生活状況の確認 レポート作成②	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
9	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う		
10~ 12	生活状況の確認 レポート作成③	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
13~ 14	日本文化に触れる	学外で日本文化に触れる		
15	日本文化に触れる	日本文化に触れる レポート提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	【事前学習】 特になし

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータリテラシーⅡ		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	8単位(90時間)	必須	川人 宏行(実務経験有)
授業の概要				
・ITパスポート試験の試験分野別対策を行う				
【実務経験】川人宏行: エンジニアとして5年間勤務 社会人経験を活かし、学生のロールモデルとなるように授業展開する				
授業終了時の到達目標				
平成31年度 ITパスポート 合格				
回	テーマ	内容		
1~3	コンピュータシステム(ハードウェア)	ハードウェア分野の試験対策を行う		
4~6	コンピュータシステム(基礎理論)	基礎理論分野の試験対策を行う		
7~9	コンピュータシステム(ソフトウェア)	ソフトウェア分野の試験対策を行う		
10~12	コンピュータシステム(マルチメディア)	マルチメディア分野の試験対策を行う		
13~15	コンピュータシステム(ヒューマンインターフェース)	ヒューマンインターフェース分野の試験対策を行う		
16~18	コンピュータシステム(システム構成)	システム構成分野の試験対策を行う		
19~21	コンピュータの技術要素(データベース)	データベース分野の試験対策を行う		
22~24	コンピュータの技術要素(ネットワーク)	ネットワーク分野の試験対策を行う		
25~27	コンピュータの技術要素(情報セキュリティ)	情報セキュリティ分野の試験対策を行う		
28~30	システム開発(アルゴリズムとプログラミング)	アルゴリズムとプログラミング分野の試験対策を行う		
31~33	システム開発(システム開発技術)	システム開発技術分野の試験対策を行う		
34~36	システム開発(プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント)	プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント分野の試験対策を行う		
37~39	企業活動と情報システム(企業と法務)	企業と法務分野の試験対策を行う		
40~42	企業活動と情報システム(経営戦略)	経営戦略と法務分野の試験対策を行う		
43~45	企業活動と情報システム(システム戦略)	システム戦略分野の試験対策を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 確認テスト 期末試験	30.0% 30.0% 40.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト 用いて予習する

回	テ ー マ	内 容	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Office演習Ⅱ		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2019/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	合田 千佳(実務経験有)
授業の概要				
<p>日本語入力環境でのパソコン操作と入カスキルを習得する フォルダやファイル操作の基本スキルを習得する マイクロソフトExcelの基本的な使い方を習得する</p> <p>【実務経験】合田 千佳：営業事務として2年の実務経験 これまでのMicrosoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス文書作成などの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
マイクロソフトExcelを利用して毎月の自分の家計簿を作成することができる				
回	テーマ	内容		
1~2	Excelの基本	Excelの起動と終了, 保存フォルダの作成 Excelの画面 シートの作成と削除 ブックの保存 ブックの読み込み シートの印刷 テンプレート 練習問題にチャレンジ		
3~4	セル操作の基本	セルとシートの基本 データの入力と修正 データの消去, セルの削除・挿 データのコピーと移動 オートフィル セルの表示形式 練習問題にチャレンジ		
5~6	セルの編集	表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 練習問題にチャレンジ		
7~8	表の編集	表のスタイル(書式)設定 テーブルの並べ替えと解除 条件付き書式 表の検索と置換 練習問題にチャレンジ		
9~10	式と計算の基本	式の入力と計算 合計の計算 関数を使った合計の計算 平均の計算 スパークライン 練習問題にチャレンジ		

回	テーマ	内容
11～ 12	相対参照・絶対参照	相対参照 絶対参照 複合参照 練習問題にチャレンジ
13～ 14	表の式と計算	割合の計算 達成率の計算 練習問題にチャレンジ
15～ 16	グラフ機能	円グラフの作成 グラフの移動とサイズ変更 グラフの色やレイアウト、スタイルの変更 練習問題にチャレンジ
17～ 18	棒グラフ	棒グラフの作成 棒グラフの種類や表示の変更 グラフシート 練習問題にチャレンジ
19～ 20	折れ線グラフ・箱ひげ図	折れ線グラフの作成 箱ひげ図 練習問題にチャレンジ
21～ 22	シート間の参照と画像・図形の挿入	別シートのセルを参照 コメントの挿入と削除 画像の挿入 図形の挿入 練習問題にチャレンジ
23～ 24	関数と数式の基本	関数の基本 合計 平均 最大 最小 練習問題にチャレンジ
25～ 26	条件分岐と論理式	IF関数と条件分岐 IFS関数と複数の条件分岐 COUNTIF関数 練習問題にチャレンジ
27～ 28	データの抽出	リスト形式 フィルターの設定と解除 データの抽出と解除 いろいろな抽出方法 複数項目のデータの抽出 練習問題にチャレンジ

回	テ ー マ	内 容		
29～ 30	データの並べ替え	リスト形式 データの並べ替え 複数項目の並べ替え 練習問題にチャレンジ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
留学生のためのかんたんExcel入門 技術 評論社		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	【事前学習】 次回授業の教科書 の範囲を熟読し、 意味の理解できな い日本語にマーク する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
セキュリティ基礎		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	片山 満久(実務経験有)

授業の概要

情報セキュリティの基本を理解し、セキュリティリテラシーを向上するために、様々な場面でのセキュリティのあり方を学ぶ。

また、ITパスポート試験の情報セキュリティ分野の問題の解き方・考え方を身に着ける。

[実務経験] 片山満久 : システムエンジニア・プログラマとして、フリー期間も併せて15年の実務経験と16年の専門学校講師経験。「よくわかるインターネット基本操作(西東社)」など著書多数
 情報処理安全確保支援士(セキュリティスペシャリスト)試験に合格している

授業終了時の到達目標

ITパスポート試験の情報セキュリティ分野問題が合格ライン以上解けるようになる

回	テーマ	内容
1	情報セキュリティとは	情報セキュリティの概要 強いパスワードの考え方
2	OSのアップデートと認証	OSの脆弱性とアップデート パスワード漏洩と2段階認証
3	ランサムウェア	ランサムウェアの傾向と対策
4	サイバー攻撃の種類	マルウェアとは マルウェアの種類と対策 サイバー犯罪者の動機と対策
5	PCとファイルのセキュリティ	画面ロックの操作方法 電子ファイルの安全な整理方法
6	クラウドストレージの安全性	クラウドストレージサービスの安全性と活用方法 アカウント共有の危険性・プライバシーの考え方
7	無線LAN利用の注意点	無線LANの暗号化方法 無線LANを貸すこと 公衆無線LANの安全性とリスク
8	ソーシャルエンジニアリングとは	ソーシャルエンジニアリングの手法と対策 ハッシュタグでの個人情報漏洩
9	スマートフォンの安全性	AndroidとiPhoneでの攻撃からデータを守るポイント 「顔認証」と「指紋認証」
10	インターネット上の著作物とフィッシング	著作物の違法利用と正しい引用方法 フィッシングの手法と対策
11	不正アクセス	SNSなどへの不正アクセスの理解 個人のプライバシーの考え方
12	企業のサイバー攻撃対策	企業へのサイバー攻撃への有効な対策
13	ビジネスメール詐欺	ビジネスメール詐欺の実例と手口
14	中小企業のセキュリティ対策	限られた予算で対策すべき事・してはいけないこと

回	テ ー マ	内 容
15	ウイルス対策ソフト	セキュリティ対策ソフトが行っていること マルウェアの判別方法

回	テ ー マ	内 容		
16	EDRとは	EDRのしくみ 従来のエンドポイント対策との違い		
17	企業とIT社会とセキュリティ	企業がセキュリティを守るために重要なポイント		
18	情報セキュリティの脅威	人的脅威・技術的脅威・物理的脅威 情報セキュリティマネジメントとは		
19	情報セキュリティ対策	情報セキュリティポリシーの策定 アクセス権の設定 データの暗号化 利用者認証		
20	暗号技術	共通鍵暗号方式 公開鍵暗号方式		
21	暗号技術	セッション鍵暗号方式		
22	認証技術	ID・パスワード認証、ワンタイムパスワード デジタル署名		
23	認証技術	ハッシュ値 タイムスタンプ認証		
24~ 29	ITパスポート試験でのネットワーク とセキュリティ問題	ネットワーク・セキュリティ分野の過去問題を回答・解説		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「Q&Aで考えるセキュリティ入門」 エム ディエヌコーポレーション		期末試験 確認テスト 出席率	40.0% 30.0% 30.0%	[準備学習] セキュリティ特有の専 門用語がたくさんある ので、その日に出てき た用語はきちんとまと めて、次の授業に備え てください

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
国家試験対策Ⅰ（ITパスポート）		国際ITエンジニア学科セキュリティコース（3年）	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	40回	5単位（80時間）	必須	山内 章弘（実務経験有）

授業の概要

ITパスポートの試験対策を行う

【実務経験】山内章弘：

プログラマ、SEとして企業に20年の勤務経験

これまでの実務経験を活かし、ITパスポート取得に必要な知識を講習する

授業終了時の到達目標

平成31年度 ITパスポート 合格

回	テーマ	内容
1～2	コンピュータシステム（ハードウェア）	ハードウェア分野の試験対策を行う
3～4	コンピュータシステム（基礎理論）	基礎理論分野の試験対策を行う
5～6	コンピュータシステム（ソフトウェア）	ソフトウェア分野の試験対策を行う
7～8	コンピュータシステム（マルチメディア）	マルチメディア分野の試験対策を行う
9～10	コンピュータシステム（ヒューマンインターフェース）	ヒューマンインターフェース分野の試験対策を行う
11～12	コンピュータシステム（システム構成）	システム構成分野の試験対策を行う
13～14	コンピュータの技術要素（データベース）	データベース分野の試験対策を行う
15～16	コンピュータの技術要素（ネットワーク）	ネットワーク分野の試験対策を行う
17～18	コンピュータの技術要素（情報セキュリティ）	情報セキュリティ分野の試験対策を行う
19～20	システム開発（アルゴリズムとプログラミング）	アルゴリズムとプログラミング分野の試験対策を行う
21～22	システム開発（システム開発技術）	システム開発技術分野の試験対策を行う
23～24	システム開発（プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント）	プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント分野の試験対策を行う
25～26	企業活動と情報システム（企業と法務）	企業と法務分野の試験対策を行う
27～29	企業活動と情報システム（経営戦略）	経営戦略と法務分野の試験対策を行う
30～32	企業活動と情報システム（経営戦略）	経営戦略と法務分野の試験対策を行う

回	テ ー マ	内 容		
33～ 35	企業活動と情報システム（システム戦略）	システム戦略分野の試験対策を行う		
36～ 39	ITパスポート試験対策 答案練習	過去問題に慣れ、繰り返し答案練習することで知識を定着させる		
40	期末試験	ITパスポート試験の出題範囲より総合的に確認する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験 出席率	70.0% 30.0%	【準備学習】 前期で学習したIT用語、ビジネス用語を復習しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本語基礎Ⅱ		国際ITエンジニア学科セ キュリティコース(3年)	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	橋本 恵
授業の概要				
日本語能力試験N3レベルの日本語力の定着とN2試験対策のための学習を行う				
授業終了時の到達目標				
日本語能力試験N2レベルの日本語力の習得				
回	テーマ	内 容		
1	会話	場面に合った会話表現を習得し、自然な会話ができるようにする		
2	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
3	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする		
4	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
5	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
6	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
7	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする		
8	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
9	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
10	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
11	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする		
12	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
13	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
14	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
15	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする		

回	テ ー マ	内 容
16	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
17	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
18	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
19	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
20	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
21	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
22	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
23	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
24	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
25	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
26	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
27	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
28	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
29	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
30	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
31	日本語能力試験模試(言語知識・読解)	日本語能力試験模擬試験(言語知識・読解)に挑戦し、自分の習得度と弱点を知る
32	会話	場面に合った会話表現を習得し、自然な会話ができるようにする
33	日本語能力試験模試(言語知識・読解)のフィードバック	習得度と弱点を知る
34	文法	N3～N2レベルの文法の確認と定着をする
35	日本語能力試験模試(聴解)	日本語能力試験模擬試験(聴解)に対し、自分の習得度と弱点を知る

回	テ ー マ	内 容		
36	文法	N3～N2レベルの文法の確認と定着をする		
37	日本語能力試験模試(聴解)の フィードバック	日本語能力試験模擬試験(聴解)に対し、自分の習得度と弱点を知る		
38	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
39	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする		
40	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
41	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
42～ 44	前期総復習	期末テストに向け、前期で学習したことの復習をする		
45	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本語総まとめN2文法 アスク出版 日本語総まとめN2語彙 アスク出版		期末試験 確認テスト 出席率	60.0% 20.0% 20.0%	【事前学習】 教科書の次回学習 範囲を読んてくる こと

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザインⅡ		国際ITエンジニア学科セ キュリティコース(3年)	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	塩田 和正(実務経験有)
授業の概要				
<p>日本で就職することを見据えて、学生の日々の生活状況の確認を行う 学内、学外での活動を通じて、日本ならではの文化や日本人ならではの考え方を理解する</p> <p>【実務経験】塩田和正：システムエンジニアとして10年 社会人経験を活かし、学生のロールモデルとなるように授業展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
学内、学外での活動をきっかけに日本文化に積極的に触れることができるようになる				
回	テーマ	内 容		
1	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う 日本文化の紹介を行う		
2~ 4	生活状況の確認 レポート作成①	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
5	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う 日本文化の紹介を行う		
6~ 8	生活状況の確認 レポート作成②	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
9	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う		
10~ 12	生活状況の確認 レポート作成③	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
13~ 14	日本文化に触れる	学外で日本文化に触れる		
15	日本文化に触れる	日本文化に触れる レポート提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	【事前学習】 特になし